



とくしま元気印 イノベーション 人材育成プログラム ニュースレター

Vol.1
2016.11

CONTENTS

- ご挨拶/COC フラス事業の概要
- 事業推進コーディネーターの紹介
- 会議と協働事業の報告
- 【四国大学】社長のかばんもち事業の取り組み
- 【徳島大学】実践力養成型インターンシップの取り組み
- 教育上の取り組み/今後予定の事業



【徳島大学】インターンシップフェアの様子

ご挨拶 とくしま元気印イノベーション人材育成協議会 会長 野地澄晴（徳島大学長）

日本が直面する最重要課題である地方の人口減少問題を克服するには、地方に雇用を創出して地方への人の流れを作り、「東京一極集中」の是正に取り組む必要があります。地方の高等教育機関は、産官学の力を結集した地域の産業振興や、地域が求める人材育成の中核としての使命を果たさなければなりません。

徳島大学は平成27年度、徳島県や県内の高等教育機関、企業、NPO、経済団体などと連携し、学部卒業生の地域就職率増を目標とする文部科学省COC+事業に「とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム」が採択（平成27年度から5年間）され、次世代技術、地域医療・福祉、6次産業化、地域づくり・観光・ICTの4つの分野において、地域人材の育成に向けた教育カリキュラム改革や新しいインターンシップの創設、創業支援事業など、事業目標の達成に向けた様々な事業を展開しております。

徳島大学は、本事業の申請大学といたしまして、事業協働機関の皆様とともに全学を挙げて事業を推進してまいりますので、今後とも、更なるご尽力をお願いいたします。



COC フラス事業の概要 徳島大学 COC フラス事業推進監 玉真之介（生物資源産業学部 教授）

本事業では、県内の高等教育機関における県内就職率を平成31年度までの5年間で10%増加させることを目指しています。そのために県内の主要な企業、NPO、関連団体との間で「とくしま元気印イノベーション人材育成協議会」を組織し、徳島県において雇用創出と学生の就職率向上が期待できる分野、具体的には①次世代技術関連分野、②地域医療・福祉関連分野、③6次産業関連分野、④地域づくり・観光・ICT関連分野を設定しました。

その4分野に合わせて、(1)徳島大学におけるインターンシップを柱とした産学官連携による教育カリキュラム改革、(2)事業協働機関による地域就職率向上に向けた協働事業、(3)徳島県の策定による「vs東京『とくしま回帰』総合戦略」による4分野での雇用創出の3つの事業に取り組んでいます。今後、本ニュースレターで、事業の進捗と各参加校における特色ある取組をご紹介します。



事業推進コーディネーターの紹介

川崎克寛（特別准教授）

平成28年2月に着任いたしました。徳島大学で導入する新しいインターンシップの開発及び、大学・企業・学生の関係を構築するコーディネーターに取り組んでいます。



川崎修良（特別講師）

平成28年4月に着任いたしました。徳島大学における、新しい教育カリキュラムの編成、教育効果の評価手法の開発、協働事業の企画・調整に取り組んでいます。



会議と協働事業の報告

平成 28 年 2 月 9 日	とくしま元気印イノベーション人材育成協議会（於徳島グランヴィリオホテル）
平成 28 年 3 月 8 日	キックオフシンポジウム（於徳島グランヴィリオホテル）
平成 28 年 5 月 16 日	とくしま元気印イノベーション人材育成協議会（於徳島グランヴィリオホテル）
平成 28 年 8 月 24 日	平成 27 年度事業外部評価委員会の開催（於徳島大学常三島キャンパス）
平成 28 年 8 月 25 日	第一回協働事業ワーキンググループ（於徳島大学常三島キャンパス）
平成 28 年 9 月 30 日	【徳島大学】プログラム教員会議（於徳島大学常三島キャンパス）
平成 28 年 10 月 12 日	第二回協働事業ワーキンググループ（於徳島大学常三島キャンパス）
平成 28 年 11 月 9 日	第三回協働事業ワーキンググループ（於徳島大学常三島キャンパス）
平成 28 年 11 月 23 日	特別セミナー「徳島の魅力、徳島で働く」（於四国大学交流プラザ 他）

【協働】とくしま元気印 イノベーション人材育成協議会



平成 28 年 5 月に今年度第 1 回目の協議会を開催し、昨年度の総括と今年度の事業計画について審議しました。

【協働】協働事業実施委員会 (ワーキンググループ)



参加校から選出された委員でワーキンググループを構成し、今年度の協働事業の具体的実施案について協議しました。

【徳島大学】プログラム教員会議



COCプラスで開設する教育プログラムについて、科目担当教員の間で理解を深め、今後の取組について協議しました。

【協働】特別セミナー 「徳島の魅力、徳島で働く」



e-learning 授業の試行として、サテライト環境を活用し、複数会場で聴講できるセミナーを実施しました。県内の大学生や高校生等を対象とし、徳島の魅力や産業の可能性に関する講演を配信しました。

【徳島大学・徳島文理大学】 ボランティア・パスポート



学生が主体的に地域と関わり、地域の課題に挑戦する仕組みとして、ボランティア活動を記録する「ボランティア・パスポート」を導入しました。40時間従事する毎に色が変わり、学生の活動を動機付けます。

【四国大学】社長の秘書体験「社長のかばんもち」事業の取り組み

四国大学では平成 28 年 8 月から 9 月にかけて、徳島県信用保証協会の協力をいただいで、社長の秘書体験を行う「社長のかばんもち」事業を実施しました。本事業はCOC+事業に係る創業支援事業の一環となります。

事業では経営情報学部疋田ゼミの学生 11 名が、県内の従業員 10 名以下の小規模企業 5 社に応募しました。学生の希望と企業側の希望をマッチングした結果、7 名の学生の 4 社への受け入れが決まり、経営者の秘書業務を 1～2 日間体験しました。

10 月 25 日には、四国大学キャンパスにて報告会を開催しました。疋田ゼミの学生 11 名と受入先企業の経営者等 5 名が集まる中、学生による成果報告、企業から参加学生についての講評が行われた後、事業全体について参加者間で意見交換を行いました。

今後は、報告会での意見交換の結果等を反映させながら、引き続き「社長のかばんもち」事業を実施していきます。



【徳島大学】実践力養成型インターンシップの取り組み

徳島大学教育カリキュラム改革の1つとして、寺子屋式インターンシップの開発を進めています。寺子屋式インターンシップとは、インターンシップを受け入れ先任せにせず、教員が「ドン」となって少人数の学生を担当し、受け入れ先の「メンター」とも連携して事前学習からインターンシップ、事後の振り返りまで「課題・レポート・ディスカッション」を繰り返す方式の教育プログラムです。

本年度は、寺子屋式インターンシップの開発に向けた試行として、実践力養成型インターンシップと題し、学生が1ヶ月間企業や各種団体等の課題に取り組むプロジェクト型のインターンシップを実施しました。現在、7つの企業・団体で35名の学生が実践力養成型インターンシップに取り組んでいます。

【実践力養成型インターンシップの位置づけと実施体制】

一般的なインターンシップは、仕事理解型、採用直結型、業務補助型、課題協働型、事業参画型5つのタイプに分類されます(図1)。「職業人意識とコミュニケーション力を育成する」ことが目標である実践力養成型インターンシップは、企業の業務に実際に参加する、後者3つのタイプとして位置づけました。

企業・団体側が学生を「お客様」ではなく、共に課題解決に取り組む「期間限定の社員」として捉えた上で、企業・団体が抱える課題を解決するためのプロジェクト、もしくは企業・団体が描くビジョンを達成するために挑戦したいプロジェクトを組み立てました。現在、受入先企業・団体とCOCプラス推進本部が連携しながら取り組む学生の支援を行っています。(図2)

【実践力養成型インターンシップの流れ】

①企業とのつながりの構築(平成28年3月~4月)

インターンシップの受入企業を開拓するため、企業・団体合わせて27社を訪問しました。また、企業人と学生の交流イベント「一歩踏み出した学生たちによるトークライブ&ワールドカフェIPPO」を開催し、企業と学生それぞれの課題意識を抽出しました。

②プロジェクトの組み立て(平成28年5月~6月)

インターンシップの受入企業の担当者と共に、企業の抱える課題の洗い出しを行い、インターンシップとして取り組むことが可能なプロジェクトを組み立てました。また、企業側の担当者が学生にプロジェクトを紹介する「インターンシップフェア」(参加学生数69名)を開催しました。

③学生のマッチングと事前学習(平成28年6月~8月)

プロジェクトに対する学生のマッチングを行い、選考及び参加の意思を確認しました。マッチング後はインターンシップに先駆けた事前研修を参加学生及び企業側担当者に対して実施しました。

④プロジェクトへの取り組み(平成28年8月~12月)

現在、7つの企業・団体のプロジェクトに35名の学生が取り組んでいます。10月には中間報告会を開催し、各プロジェクトの企業側担当者とインターン生が進捗報告と今後の目標を発表しました。12月中には全てのプロジェクトの取り組みが完了します。

⑤最終報告会(平成29年1月)

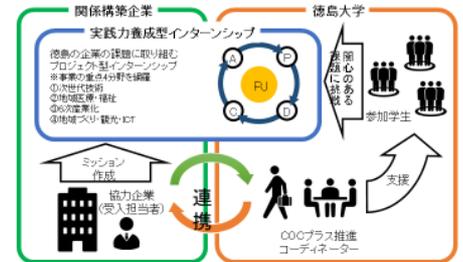
受入先企業担当者の他、事業協働機関、連携大学等教員等を招待して、成果の最終報告を実施します。

⑥来年度のインターンシップの準備と検討(平成29年1月~3月)

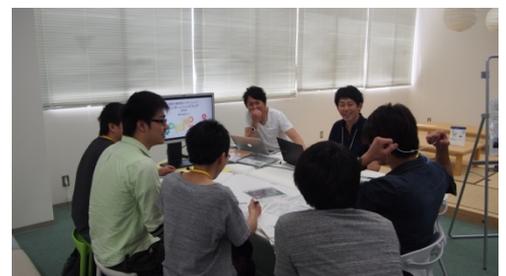
受入先を拡大するために企業訪問を行うと同時に、来年度の実施体制、教員(ドン)の役割について、各学部の担当教員を交えて検討をします。

	特徴	学生の教育効果	企業のメリット
仕事理解型	1~2週間程度の職場・業務体験が中心。最後にレポートやプレゼンによる報告を実施することが多い。	自己の適性・志向の理解	企業・業界広報
採用直結型	実際に一緒に働いてみてお互いを見極める採用活動の一環。外資系企業や大手ベンチャー企業などで実施。	働くこと・業界の理解	採用マッチング
業務補助型	普通のアルバイトでは経験できないような企業の業務に取り組み。期間は1か月以上の長期が多い。	社会人基礎力	若者を活用した業務の推進
課題協働型	会社と大学を行ったり来たりして課題発見や企業立案に取り組み。グループワーク形式が多い。	社会人基礎力+学びの実践	若者の発想の活用・社内活性化など
事業参画型	企業の新規事業や営業プロジェクトの一員として業務に取り組み。期間は1か月から長いものも半年間の長期が多い。	社会人基礎力+リーダーシップ	若者を活用した新規事業などの推進

(図1) インターンシップの分類



(図2) インターンシップの実施体制



個別企業によるプロジェクト紹介の様子



中間報告会の様子



インターンシップの様子 ((有) 榎山農園)



インターンシップの様子 ((株) QLIP)

教育カリキュラム改革の取り組み

平成27年度 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業～地(知)の拠点COCプラス～
とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム



本事業では、とくしま元気印イノベーション人材育成プログラムと題し、徳島の未来にビジョンを持ってイノベーションに意欲と専門知識を持って参画する学生を育成するなど、県内就職率の増加につながる取り組みを進めています。

徳島大学では徳島の成長の可能性が見込まれる4つの分野に対応した教育プログラムの導入や、職業人意識とコミュニケーション力を育むためのインターンシップの開発など、教育カリキュラム改革に取り組んでいます。

さらに、地元で活躍するOG・OBを講師とした合同授業の実施など、県内6つの教育機関で協働したカリキュラム開発を進めています。

今後の事業予定

【協働】保護者向け就職ガイダンス (平成 28 年 12 月 18 日 (日) / 徳島大学創成学習スタジオ)

県内大学、高専の学生・保護者を対象に、県内企業の魅力や将来ビジョンと、徳島県で働く・暮らすことについて周知を図るためのガイダンスを実施します。特に、保護者に向けては企業名や規模ではなく、業務内容やワークスタイル等の 様々な観点から就職先を選ぶ視点を含めて、徳島の企業の魅力を伝達することを目指します。

【徳島大学】実践力養成型インターンシップ最終報告会 (平成 29 年 1 月 21 日 (土) / 徳島大学けやきホール)

現在、徳島大学生 35 名が企業等 7 つの団体で、組織の課題解決に取り組むプロジェクト型のインターンシップを行なっています。プロジェクトを終えた学生の成果報告会を 1 月 21 日に実施致します。

【四国大学】「とくしま学生ビジネスプラン道場」最終審査会 (平成 29 年 1 月 22 日 (日) / 徳島グランヴィリオホテル)

現在、四国大学でビジネスプランコンテスト「とくしま学生ビジネスプラン道場」を進めています。その最終審査会を実施します。最終審査には、二次審査を通過した 6 チーム (個人を含む) が挑みます。同時に、高校生によるビジネスアイデアに関するプレゼンテーションも行います。

【協働】FD 地域人材フェスタ (平成 29 年 2 月 19 日 (日) / 徳島グランヴィリオホテル)

平成 27 年度、平成 28 年度の COC プラス事業で得られた成果と、事業を進める中で明らかになった教育上の課題を、県内外の高等教育機関、自治体、企業、NPO 等の間で共有するためのシンポジウムを開催します。

事務局だより

COC プラス推進本部事務局は COC プラス推進コーディネーター 2 名、アソシエイト・コーディネーター 2 名の計 4 名で構成されています。日々、さまざまな業務に取り組み奔走しています。このニュースレターを読まれて COC プラス事業に興味をもたれた方はぜひ、常三島キャンパスの地域創生・国際交流会館 3 階の地域創生課内にある事務局にお気軽にお越しください。スタッフ一同お待ちしております。



徳島大学 COC プラス推進本部事務局 (研究・社会連携部地域創生課内)
 徳島市南常三島町 1 丁目 1 番地(地域創生・国際交流会館 3F)
 電話:088-656-9910 FAX:088-656-9880
 e-mail:coc-plus@ml.tokushima-u.ac.jp

